

陽の里



発行 平成20年1月1日
社会福祉法人 新生会
横吉ケアセンター
サンピレッジ

No.98

賀
正

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

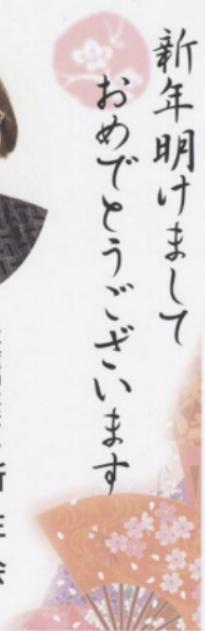
新年明けまして おめでとうございます



社会福祉法人 新生会

理事長

石原 美智子



お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、私達の法人では大きな事業が始まりました。岐阜県のメイン玄関であるJR岐阜駅前の43階建て住宅マンションでの医療福祉ゾーン開設です。

10月13日のグランドオープングから本格的に始動しだして、現在、ゆっくりと成果が見えだしました。特に、シティー・タワー・アンキーノでお客様の変化は、私達が求めてきた生

命のことをお慶び申し上げます。昨年は、私達の法人では大きな事業が始まりました。岐阜駅前の43階建て住宅マンションでの医療福祉ゾーン開設です。

活支援の効果が現れた、と言えるのではないかでしょうか。ペッドから離れることが出来ない状態で、もう人生の終わりを予感している人が、病そのものは治癒していなくとも、スタッフの生活支援を受けて、生きる希望が湧いて生き生きとされる。サンビレッジで当たり前になつて、いる生活支援も、短期間ゆえに、際だつて見えてきています。

昨年は、羽田澄子監督の「終わりよければすべてよし」の記録映画も、全国各地で上映



▲サンサンタウン「ピアノ」こけら落とし

れてきているのでしょうか。今年は更にその実践を記録する映画の撮影も継続されます。障害を持つて生活が不自由になつても、そこに専門性の高い支援が存在することによって、最後まで豊かな精神状態で過ごすことが出来るという理想を追求して、更なる努力を重ねていきたいと願っています。



▶アンキーノ利用者のリクエストに応えるバイオリニストの椎さん

され、今年も広がつていくでしょう。そのことによって今まで無関心であつた人々も人生のあり方を考えることでしよう。私は30年以上かかるオーストラリアから学びながら求めてきた「質の高い生活支援」が、どのようなものであり、そこにはどれほどの価値があるかを多くの人々に知つていただきたいという願いが少しづつ叶えら

飛躍の年となりますように

岐阜シティ・タワー43新生ガループ統括責任者 奥堀 恵

恵

明けましておめでとうござい
ます。

岐阜シティタワー43の3階フ
ロア、サンサンタウンでは、10月
のグランドオープと同時に「新
しい街づくり」が始まりました。

グランドピアノの周りでは子
どもたちとお年寄りが「ゆーき
やーこん」、「あられやーこん」と

合唱しています。抱つの赤ち
ゃんも気持ちよさそうに聴いて
います。そんな風景が行き交
う人々の心を和ませてくれます。

先日、退院直後、「アンキー
ノ」の下見に訪れたAさんは、
ホールに流れているピアノの音
を聴いたことなん、涙が出てきて、
ここで過ごしたいと決められた
そうです。

「みつけのおうち」のお母さんも
おたよりノートを見て、「切干



▲駅前保育 みつけのおうち

新たな年を迎えて

サンビレッジ岐阜 管理者

若原邦弘

新年明けましておめでとうご
ざいます。早いもので、サンビレ
ッジ岐阜が開設して3か月が
経過しました。都市型複合施
設の中の「医療福祉ゾーンサン
サンタウン」の一角を担う重責
や各ナレントとの連携、介護保
険を利用しない全く新しいタ

イプの「シティタワー・アンキーノ」
の運営など、息つく暇もないほ
ど忙しい一年でした。と同時に、
大変やりがいを感じる一年でも
ありました。私が従来在籍した
部署では、利用者により良い環
境で過ごしていただきたために、
その方のQOLをいかに高めら
れるかを考えながら、家族や地

の上でいかに地域社会と融合し、
地域を創っていくかも考えなけ
ればなりません。今後もサンサ
ンタウン共通のテーマ「健康」に
沿って、来ていただいた人にいか
に心やすらぐ時間を提供してい
けるかをフロア全体で考えてい
きたいと思っています。

新生会をはじめ、サンサンタ
ウンフロア、引いてはシティ・タ
ワー全体で皆様のお越しをお
待ちしております。本年もどう
ぞよろしくお願ひいたします。

まだまだオギヤーと産声を
あげたばかりのサンサンタウン。
今年こそ、利用者満杯、活気溢
れる街にしたいと祈願しチーム
一同ホップ、ステップ、ジャンプ！
…ということを行つきましたが、
ここでは、それに加えて各フロア
テナントとの連携も必要で、そ



▲健康講座 感染症

「新年に寄せて」 利用者・ボランティアの方々の抱負をお伺いしました……

迎春

サンビレッジ大庭居住者

坪井文子



新年のご祝詞を申し上げます。

坪井文子
書

端え満梅花

新年のご祝詞を申し上げます。

申し上げます。

から五回目の初春を迎えようとしております。元気な頃の自分の姿が、走馬燈の様に巡ります。

私の夢は只一つ、歩ける喜びと嬉しみが欲しい。

今年こそは書道に唄に、読経その他に専念。日々お世話になつてゐる職員の皆様厚く御礼申し上げます。

新聞を読もう会 森 愛子



月二回「新聞を読もう会」でご利用者の皆様とお喋りをさせてもらっています。政治面から食べものに至る迄、暗い話が多く、出来るだけ楽しい話をと思い季節や身近な事をがら、懐かしい話を選んで読んでいます。

私にとってサンビレッジは、誕生から十八年余りご利用者と過ごした、云わば私の心のふる里。短時間の訪問ですが、日頃ぼんやり生活している私にとってとても良い刺激になり、ボランティアへの声かけをして頂いた事を感謝しております。

花ぼっこ 林 初子



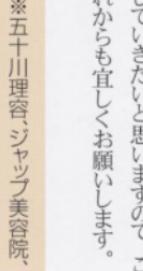
私がお茶会と、クリスマスツリー作りのボランティアに携わらせていただくようになって、早8年になります。

お茶会では、必ず着物を着用し、視覚的にも喜んでいただけたと毎月季節にあつた色や柄を選んでは皆さんに楽しんでいただいています。

クリスマスの時期には、ウキウキしてしまうような飾りを作つて頂いています。参加者の方の嬉しそうな笑顔を見ると、こちらまで楽しい気分になります。

これからも、クリスマスツリー作りに幸せを感じたいと思います。

ヴィスアヴィスヘアモード 桑原里美



こちらのサンビレッジに、「アカットの出張業務始めてから、はや三年以上が経ちました。二ヶ月に一度おじゃましています。なかには楽しみに待つてくださる方もいて、嬉しく思います。自分たちより大先輩の方ばかりで、いつもいっぱい元気をいたいでいます。

これからも、ヘアケアを通していつまでも見た目も若く、ハッピーになつてもらえるよう協力していきたいと思いますので、これからも宜しくお願ひします。

※五十川理容、ジャップ美容院、廣瀬理容、サンドマキ、林美容、S理容の方もおこしいただいてます。

加藤直子

Volunteer Summary

陽の里

絵画はそこに存在するだけで場を明るくし、人を和ませる力をもっています。その力を高齢者の暮らしに役立てたい。そう考えたことが、私がサンビレッジでボランティアをさせて頂くようになったきっかけです。

私が参加しているのは、ホーリーに飾る壁画作りの活動です。高齢の方々と共に大きな絵画を制作するのは容易なことであります。しかし制作中に垣間見る、高齢者一人一人が個性を表現しようとする自発的な姿や、完成時の満足そうな笑顔は、私にとっての上ない喜びであり、この活動を続ける原動力となっています。

現在ではちぎり絵や花作りに留まっています。今後その他に

絵画はそこに存在するだけで場を明るくし、人を和ませる力をもっています。その力を高齢者の暮らしに役立てたい。そう考えたことが、私がサンビレッジでボランティアをさせて頂くようになったきっかけです。

私が参加しているのは、ホー

リに飾る壁画作りの活動です。



▲壁画 四季

の活動についても考慮し、この壁画作りが高齢者にとってより魅力的で、より可能性を広げるものになることを願っています。



▲中学生による展示作業(ひまわりホール)

文化祭の利用者展示作品



†野村さん作



松田さん作



北辰さん作



河村さん作



吉澤さん作



†中野さん作



松田さん作



竹中さん作



吉澤さん作



†コスモス貼り絵

一緒に働く仲間を募集しています!

【職種】介護職員・看護職員
作業療法士・調理員
【勤務地】現寮都池田町、
大垣市北方町、
岐阜市橋本町

労働条件、給与等については、
お問い合わせ下さい。

電話：058-45-5545
E-mail：sun-mori@shinsel-kal.or.jp
(担当：森)



一、事業名
福祉車両の整備事業
二、事業内容
移送車・車いす仕様車
リフト式
トヨタドネースステーション
三、事業登録番号
177万5531001
四、補助金額
1,722万5000円
五、施設名称
デイサービスセンター
サンビレッジ新生園
六、施設所在地
岐阜県揖斐郡池田町木暮
七、開設年月
平成19年9月11日
八、法人登記
サンビレッジ新生園
九、会員登記
新 生 会
理事長 石原 美智子

日本自転車振興会競輪
補助事業元アドのお知らせ
「ひのづれ財団法人日本自転車振興会公認」の文言の付与を受け、「左記の事業を実施します」として記載されています。
このに財団法人日本自転車振興会は、「ひのづれ財団法人日本自転車振興会」に改められましたと
ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。記

トピックス

太陽の村から



この車のマークを見かけたことはありますか？新しくサンビレッジの統一「ロゴ」となりました。明るい太陽の下、住み慣れた緑豊かな地域での生活を支援していく私たちの活動が、お年寄りを含めて全ての人々に一目で理解して頂けるようにデザインしました。このマークが在るところに地域に暮らす人々の笑顔も増えていくように、私たちは安心できる専門サービスを提供していきます。

力もちはいかが？



今年もサンビレッジ新生苑で餅つきが行われました。当苑では利用者さんが過ごした生活文化を大切にして餅をつき、楽しく行事を行ってもらえるよう、職員が見守りを行いながら食べて頂くのです。

さあ、慣れない若手職員に代わり、男性利用者さんの登場です。「よいしょ！」（杵は利用者さんの誂りを保てるように、少し軽く作ってあります）振り下ろされる杵には、みんなの新年への想いが込められています。

燃えよ
ケン!!



認知症高齢者ケア研究会の方々



定価

2,310円(税込)

中央法規出版より

好評発売中

「認知症「日常生活」サポート・ブック」発行！

龍谷大学 社会学部 臨床福祉学科の青木信雄氏を始め、サンビレッジ職員も参加している「認知症高齢者ケア研究会」で長年研究してきた「認知症「日常生活」サポート・ブック」がこの程完成しました。これまで認知症の症状について書かれた専門書は沢山ありますが、在宅で暮らす認知症の方々への具体的なケアや対応、その根拠が書かれたものは数少なく、現実に困っている家族の方へのサポートの本は身边にあまりありませんでした。認知症のケアは、普段の日常生活が「あら、ちょっと変ね…」と思った時期から始まっています。この本は各症状が細かく、かつ分かり易く分類されているので、きっと家庭介護のお役に立つと思います。勿論、介護の仕事に関わる方々も活用して頂けますので、ぜひご一読下さい。認知症になんでも安心して暮らしていくける地域社会を共に創りましょう。

サンビレッジ ケアマネジメントセンター 桜田 りえ

あけましておめでとうございます。さて今年はどんなお正月をお過ごしでしょうか？私達に教えて下さい。只今陽の里春号に掲載する写真や話題を募集しています。皆さんの素敵な笑顔が地図に広がり、今年はより多くの想いが生まれますように。

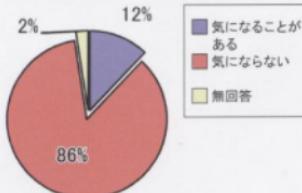
●写真やお便りの宛先：池田町本郷1501 (TEL 0585-45-5545) サンビレッジ新生苑 機関紙係まで

(続) 施設利用者ご家族様へのアンケート調査を実施しました!

有効回答率 56%

前号では、サンビレッジの評価委員会より家族の方に施設のサービスに対してのアンケート調査結果をお伝えしました。ご意見をうけて今後の課題もみえてきました。今月報告分の「室内の臭い、音などの環境面について」もそのひとつです。それでは、(続) アンケート調査結果をご報告いたします。

室内の臭い、音など環境について
気になる点はありますか?



- *クーラーの調整をこまめにお願いします
じっとしているお年寄りには寒いのでは...
- *尿臭が気になります
- *多少臭いますね(居室や玄関)
- *ラジオのかけっぱなしで気になります
- *音楽がかかっていていいですね

<内部評議員による臭いチェック!>

- ・尿の臭いが気になる(チューリップ棟)
- ・バラ棟玄関のあたりが臭う
- ・ペットの臭いが気になる
- ・湿度の高い時には通路近くのW.C.が臭う

- ↓
- ・ポータブルトイレの洗浄と使用後の後始末
 - ・換気をこまめに心がけます

多数のご意見ありがとうございます。
私達職員には鈍感になっていた部分だと反省
しました。今回のご意見のうち
「臭い」について検討しました。
その取り組みを紹介します。



トイレのカーテンをドアに改修しました



トイレに消臭効果のある炭を置きました

皆様のご意見より

- *スタッフの方のサービスの質が高いと思います
- *食事については量より質に重点をおいているのがわかります
- *寝てばかりでしたが元気になり、明るくなった
- *相談しながら改善できるよう協力しあうところが良い
- *家族の介護負担がなくなり、家族関係も良好です
- *中庭に出るなどの散歩もうれしい心配りですね
- *面会場所の充実を望む
- *建物が傷んでいる

行事に関するご意見も承りました

- *身体状況によっては満足できる行事ばかりではないのが残念です。
- *内容が盛りだくさんで疲れそう。
- *毎回楽しみです。
- *大掃除の参加者が少なく大変でした。

お忙しい中、参加していただきありがとうございます。四季折々の行事を楽しんでいただくこと、それは同時に生活に潤いをもたらし、日本独自のわびさびを思う・・・そんなひとときでもあるのでしょうか。

19年度は各種行事の内容の見直しを行っています。20年度は結果に繋げていきます。

5月に行いました「母の日交流会」ではご利用者の大好物の「おはぎ」をご家族の方と作り和気あいあいとすすめることができました。

ご家族の方にとっても気軽に参加していただきご家族同士の交流の場となれたらと思っています。



すずらん棟の風景

「陽の里」7月号、12月号と分けてご家族アンケート調査結果を掲載させていただきました。

日頃、じっくりとお聞きできない皆様の率直なご意見を伺うことができました。

今回のアンケート結果を細かく分析し業務改善に努めています。貴重なご意見ありがとうございました。

サービス評価委員会では、外部の評価委員による年に2回の「よろず相談」を行っております。施設の職員には直接言いにくいことや困っていることなどございましたら、ぜひこの機会をご利用ください。又、電話での相談も隨時承っております。

<サービス評価委員会>

委員長 田中恵津子

電話番号(0585)45-5545

退院後、寝たきりになり 食欲も減退

事例

重度認知症のSさんは頻繁な徘徊があつたが、食事や排泄は見守り程度の方であった。ある夜、居室内で転倒し、大腿骨頭部を骨折して入院となつた。高齢でもあつたSさんは高齢であるという理由から手術は見送られ、保存療法による安静となつた。

しかし、骨折したことを理解できないSさんはベッド上で

秘蔵版

本編に「勝るとも劣らない貴重な事例の秘蔵版を紹介します。」

尊厳を支えるケアをめざして

総合ケアセンター サンフレッシュ

50回

中央法規



著者: 生生介護実践会社会員 中村秀一
進化するケア本書はおもむかに高齢者介護のトータルプランナーの30年の実践の成果を示している。「尊厳を支えるケア」を目指す同志、読むべし。

定価 本体2,000円(税別)

解説

スタッフは入院前とはすっかり変わつたらさんに戸惑いを感じつも、ます状態観察を行い、離床を進めることとした。離床により寝食を分離し、食事への意識を高めるだけでなく、アクティビティ活動の場にも参加し心身への刺激を図つた。退院当初は目で人の動きを追う程度であったが、徐々に発語がみられるようになり、歌に合わせて手拍子を取つたり笑顔も増えてきた。

生活にメリハリが出てきて、周囲からの刺激も増えたことにより、徐々に食欲も回復し、全量摂取も可能となってきた。ミキサー食から粥・刻み食に変更しても、特にむせもみられず咀嚼力も回復してきた。試しにスプーンを手渡すと、こぼしながらも自力摂取が可能であった。

排泄は退院当初、終日おむつ着用であった。しかし、離床を進め、安定した座位が保持されるようになったころから、ポータブルトイしに座る援助を進めた。尿意はなくとも時間を見てポータブルトイしに座つてもいいことにより、徐々に

動いたし、手足を紐で固く拘束された。ユーモアに富んだSさんであつたが、骨折による痛みや環境の変化、動けないストレスにより、徐々に生気がなくなり退院できることには寝たきりの状態となり、声かけにも反応は鈍かつた。食欲旺盛で普通食を難なく食べていたSさんであるが、退院時には全介助にてミニキサー食がかろうじてのどを通る状態であった。

排尿が促せるようになり、口中はバンツに小バッドで過ごせるようになった。

離床を進めるにより生活全般において徐々に自立することができ、入院により認知症が多少進んだとはいっても以前のような「ヨーモア」に富んだのだと戻っていました。

生活とは活き活きと自分らしく生きることである。疾病によつて安静が求められるときもあるが、安静が不要となるは可能なばかり離床を進めることができることが求められる。離床とは単に起きることではない。しっかりと安定した座位が保持でき、かつ安楽でなければならぬ。不安定な座位であり、苦痛を伴うものであるとするならば、それは拘束とも言える。また、自身で座位を直すことのできない利用者が不安定な座位で長時間過ごすことにより、円背や側弯など脊椎の変形をきたし、呼吸器や内臓系にも悪影響をおよぼすことが指摘されている。

安定した座位とは、足底をきちんと床に着く高さであり、座面奥行きはひざの後ろに少し隙間ができる程度、横幅は腰幅より少し広い程度が望ましいとされている。

離床とは毎日行わなければ意味がない、歩行不可能な利用者が離床した場合には、長時間座位姿勢を強いられる。安定、安楽な座位保持に関する知識、技術は介護スタッフであつても必須であろう。

足底をきちんと着床させた離床を進めながら、移乗時には利用者の下肢に少し重力をかけることを繰り返す。こうすることにより、寝たきりであつた利用者でも徐々に下肢筋力の

増強が図られ、立位保持が可能になる者もいる。リハビリといつも機能訓練室でのリハビリを想像しがちであるが、限られた日、限られた時間でのリハビリだけでは十分とは言いかない。日常生活の中の介護場面でも、やよいとした行為の練り返しが立派なりハビリになる。

利用者に一番近い存在であり、日常生活の支援を行つている介護スタッフに期待されることが多い。介護分野だけでなく、医学や看護、リハビリに関する知識を身につけ、根拠に基づいた介護を提供することが介護スタッフの専門性を高めるだけではなく、利用者の自立支援につながつていいだろ。

Point

(生活リハビリは自立支援を促す鍵。)

「じきせんの活動」から「じきじきの活動」へ